

## 「あま市人口ビジョン（素案）」及び「あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

- 意見募集の期間 平成27年11月17日から平成27年12月16日まで
- 意見を提出された方 2名
- 意見数 2件

No.	意見の概要	<p>奉仕が当然と考える現在の町内会のあり方では、子育てや仕事で忙しい若い人には、町内会の活動が面倒と思われ、それが若い人を地域に根付かせない原因になると思う。</p> <p>町内会を企業化して、雇われた人が有給で地域の仕事をする仕組みになれば、若い人も気楽になり、住みたい人も増え、人口も増えるのではないかな。</p> <p>難しいかもしれないが、市も町内会まかせにせず介入してほしい。</p>
1	市の考え方	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市としては、町内会には、住み良い地域社会を築くための自主的な組織として、地域の特性に合わせた運営をお願いしております。</p> <p>また、市民協働のまちづくりを推進する中で、住民生活に密着した重要な役割を担っていただいていると考えております。</p> <p>その中でも、災害時や防犯面での「地域力」は、今改めて重要性が見直されていると認識しております。</p> <p>しかし、このまま少子高齢化が進行すれば、地域の担い手が不足することが想定されます。</p> <p>そこで、子どもの頃から地域の構成員として様々な活動に参加することで、将来の地域の担い手として育ててほしいという思いから、まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）21ページの「郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづくり」の事業案に、「中学生のボランティア活動等の参加促進」を掲げました。</p> <p>市としては、今回ご指摘があったように、若い方の中には、町内会の役割が面倒と思われ、引っ越しまでされる人がおみえになることを、改めて認識しながら、本戦略に基づく取組を推進していきたいと考えております。</p> <p>その結果、幅広い世代の住民が、地域に誇りと愛着を持ち、自主的に町内会活動に参加できるようになり、その中で、ご提案をいただいたような、時代に合った運営の仕組みが構築されればと考えております。</p>

No.	意見の概要	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）の4ページ、基本目標1の数値目標欄で、市内従業員数の目標値が38,000人となっている。現状値の25,268人と比較すると過大な目標に感じるが、実際に達成できる見込みはあるのか。</p>
2	市の考え方	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>基本目標1の数値目標の設定については、人口ビジョン（素案）16ページに記載のとおり、本市には、今後、人口流入を大きく増加させる要因がありますので、本市の飛躍的な発展のためには、第1次あま市総合計画で定める「平成33年に90,000人」を、引き続き目指すことを前提にしております。</p> <p>また、市内での就業機会を増大させて、平成22年国勢調査による本市の昼夜間人口比率の82.0%を100%に近づけることも前提にしております。</p> <p>本市としましては、本戦略に掲げる施策を推進することにより、これらの前提を満たすとともに、目標を達成したいと考えておりますが、市内従業員数の増減は、今後の社会経済動向など、様々な要因が影響し合うことも事実です。</p> <p>そのため、今回いただいたご意見を踏まえながら、次回の第4回委員会で、本数値目標を始め、他の数値目標やKPIについても、再度委員の皆様から幅広く意見をいただき、よりよい戦略となるよう見直しを含めた検討をしていきたいと考えております。</p>